

基本施策評価シート

基本施策最終評価
B

基本施策通し番号 30

基本施策 地下水の保全と湧水文化の再生
 構成施策

施策番号	施策名	施策最終評価
施策1	地下水保全活動の啓発と支援	B
施策2	地下水の保全	B
施策3	湧水文化の再生	B

成果指標

指 標	内 容	令和2年度 目標	令和2年度末 実績	単 位	令和2年度の成果の検証
11月の平均地下水位	大野市地下水保全管理計画に基づく、3か所の基準観測井における11月の平均地下水位	御清水観測井 1.20未満 春日公園観測井 5.50未満 菖蒲池(浅井戸)観測井 7.00未満	御清水観測井 1.17 春日公園観測井 5.82 菖蒲池(浅井戸)観測井 7.20	m	成果指標となる11月の平均値では、3か所のうち2か所の基準観測井において目標をわずかに下回る結果となったが、令和元年度に比較し改善している。令和2年度の地下水位は、梅雨の期間の降水量が多かった影響を受けて、10月まで比較的高い水位で安定的に推移したが、8月～11月の月降水量が平年を下回り、水田の落水以降は12月中旬まで低下が続いた。このように、降水量の多寡で地下水位が大きく変動する状況であり、安定的な地下水位の回復には一層の水収支の改善が必要である。

後期基本計画策定時の「現状」と「課題」

現 状	・高度経済成長期以降、地下水位の低下や湧水の減少が進み、貴重な資源である地下水や古くから受け継がれてきた湧水文化の後世への引継ぎが困難になりつつある。
課 題	・この湧水文化を後世に引き継いでいく環境を創り出すため、市民や企業、団体、関係機関などがそれぞれの役割を担い、市全体で総合的な取組を進める必要がある。

社会情勢・市民ニーズの変化

・湧水地周辺の住民による清掃活動等湧水地の保全活動や市民団体による河川清掃など継続した活動が行われている。加えて、水への恩返しキャリングウォータープロジェクトを通じて、市民に水の有難さを再認識する機会や、子どもたちが水の大切さを学ぶ機会が増えている。
 ・水に関する学習研究施設「越前おおの水のがっこう」が整備され、今後、水に関する学習の場、大学等の研究機関との共同研究の場として活用が期待される。

現在の「現状」と「課題」

現 状	・地下水保全の活動が市民の中で広がりを見せているものの、全体的にはまだまだ地下水の節水に対する市民意識が低く、節水や有効利用のための施設整備の取組が少ない。 ・降水量による影響は大きいものの、市内の地下水位は経年的に回復傾向にあり、地下水保全管理計画及び湧水文化再生計画に基づく各施策の効果が表れてきている。
課 題	・広く市民への広報活動を行うことで、地下水に関する市民意識を醸成するとともに、地下水の節水等のための取組を促進する必要がある。 ・水循環基本法の制定を契機に、水循環全体を一体的に捉え、これまでの地下水保全の取組を一步進めて、更なる水循環の健全化に総合的かつ一体的に取り組むための「大野市水循環基本計画」を推進するに当たり、流域に係る様々な主体との連携・協力が必要である。そのためにも市民の水循環に関する意識を高めていく必要がある。

基本施策の「成果」

成 果	<ul style="list-style-type: none"> ・出張授業を2つの小学校で実施し、子どもたちに水環境や水問題について学ぶ機会を提供した。 ・本市の水循環に関する研究を香川大学など4つの大学と共同で行った。今後、これらの結果を健全な水循環のまちの確立のために活用する。 ・水に関する学習研究施設「越前おおの水のがっこう」を拠点に水の循環講座や遠方で訪れた児童生徒への水の授業を実施するなど、幅広い世代に対し、水に関心を持つための機会を創出した。 ・地下水保全について、水田湛水事業を30haの圃場で実施し、冬期間の地下水の涵養を行った。 ・水循環の更なる健全化に向け、水に関する施策を総合的かつ一体的に推進するため、市域全体を計画範囲とした大野市水循環基本計画を策定した。
-----	---

改善点

・市民が本市の水環境に自信と誇りを持てるよう意識の醸成を図るため、越前おおの水のがっこうを拠点に「水の教育」「水環境の保全、継承」などの取組を進める。
 ・越前おおの水のがっこうを、水に関する研究の拠点として大学等との共同研究におけるフィールドワークの基地として活用するほか、水を切り口とした講座の開催や書籍の閲覧、貸出しなどによる学習の場として活用するため、本願清水イトヨの里との連携事業の開催や、水の有効利用を分かりやすく伝える設備を展示するなど工夫を行い、地下水の保全や有効な利活用を推進するとともに、市民の水循環に関する意識の向上に努める。
 ・持続可能な地下水の保全と利用に向けて、大野市水循環基本計画に基づき、多様な分野や様々な流域の関係者と連携し、各施策を推進する体制を整える。